

平成 2 9 年 第 6 回
仙 北 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平 成 2 9 年 3 月 2 3 日

仙 北 市 教 育 委 員 会

平成29年第6回仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成29年 3月23日(木) 午後2時～

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

委員長	安部 哲男
委員長職務代理者	河原田 修
委員	佐久間 健一
委員	坂本 佐穂
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	畠山 靖
教育次長兼教育総務課長	田口 和典
教育次長兼スポーツ振興課長	高橋 和宏
教育総務課参事	能美 正俊
北浦教育文化研究所長	浦山英一郎
教育総務課参事兼田沢湖学校給食センター所長	伊藤 静子
教育総務課参事兼角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
教育総務課参事兼西木学校給食センター所長	芳賀満希子
生涯学習課長	黒澤久美子
角館公民館長	草薨 正勝
西木公民館長	山田 且也
生涯学習課参事兼市民会館長	新田 康久
生涯学習課参事兼田沢湖図書館長	松田 修子
生涯学習課参事兼学習資料館・イベント交流館長	冨木 弘一
文化財課長兼平福記念美術館長	鈴木 孝昭

5 議事

(1) 議案審議

議案第12号	仙北市教育委員会行政組織に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案第13号	仙北市田沢湖郷土史料館管理規則を廃止する規則制定について
議案第14号	仙北市文化財保護審議会委員の任命について
議案第15号	仙北市スポーツ推進委員の委嘱について

(2) 報告事項

報告第5号	仙北市生涯学習推進本部設置要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第6号	仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第7号	仙北市就学指定校変更事務取扱要綱の一部を改正する要綱制定について
報告第8号	区域外就学の承認について
報告第9号	仙北市就学指定校変更の許可について

6 審議の経過及び結果

(安部委員長)

ただ今から平成29年第6回仙北市教育委員会3月定例会を開催いたします。

平成28年度の締めくくりの時期にあたり、一言申し上げたいと思います。本年度、各課、部署において計画された事業が滞りなく実施され、しかも、内容も申し分のない形で終わられることに厚くお礼申し上げます。このことに関しましては、常に熊谷教育長が先頭に立って、オール教育委員会という言葉で頑張ってもらえていることが大きな力になっていると思います。一つだけ、学校教育についてお話しさせていただきますけれども、世の中では、学力テストの結果というものに非常に注目が集まる、あるいはその結果にシビアに反応するということが多いところでもありますけれども、もちろん学力テストの結果は大事であるし、認めているわけですが、私は、正常な学校教育が行われた結果として受け止めていきたいと思っています。日頃から仙北市では、児童生徒の健全な発達を促す教育の充実を第一にしています。それは、教育委員会の全ての皆さんがフォローしてくださっていることにも力強い応援があると思っています。真つ当な教育を行っていけば、10年後、20年後の仙北市を創る根幹になっていくのではないかと思います。そうした意味で、学校教育をはじめ様々な皆さんの活動を自信を持って語れることを私は誇りに思っています。とは言いながらも、どこの職場でもさらなる発展のために、課題は山積しているわけですが、気を緩めることなく、今後も職務に精励していただきたいというお願いであります。最後になりましたけれども、この3月を期に退職される方々、本当に長い間ご苦勞様でした。皆さんの頑張ってもらえた成果というものは、確実に次の世代に引き継がれ、活かされてくものと思っております。また、この度の定期異動で教育委員会を去るといいますか、別の職務に就かれる方も益々のご活躍をご祈念申し上げます。以上です。

それでは、教育長の報告をお願いします。

(熊谷教育長)

それでは、2月、3月の教育委員会定例会の事務報告をさせていただきます。

—資料により報告—

(安部委員長)

ただいまの教育長の事務報告に質問はありませんか。

—質問なし—

では、承認いたします。

各委員にお願いですが、その他のところで卒業式に出席した感想を一言ずつお願いしたいと思います。

議事に入ります。

議案第12号仙北市教育委員会行政組織に関する規則の一部を改正する規則制定について説明をお願いします。

(朝水教育総務課参事)

議案第12号仙北市教育委員会行政組織に関する規則の一部を改正する規則制定について私からご説明いたします。市長部局で進めている市役所全体の行政組織再編の関係での変更でございます。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

—質問なし—

では、議案第12号は承認いたします。

続いて、議案第13号仙北市田沢湖郷土史料館管理規則を廃止する規則制定について説明を求めます。

(鈴木文化財課長)

議案第13号仙北市田沢湖郷土史料館管理規則を廃止する規則制定についてでございます。3月定例議会での郷土史料館条例の廃止条例の可決に伴いまして、当史料館の管理規則を廃止する規則を制定するものでございます。

—資料により説明—

(安部委員長)

既に議会で可決されていることの事務的手続きということによろしいでしょうか。

(鈴木文化財課長)

そうです。

(安部委員長)

では、議案第13号は承認いたします。

次に、議案第14号仙北市文化財保護審議会委員の任命について説明をお願いします。

(鈴木文化財課長)

議案第14号仙北市文化財保護審議会委員の任命についてご説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいま説明がありましたが、承認ということによろしいでしょうか。

—異議なし—

では、議案第14号は承認いたします。

議案第15号仙北市スポーツ推進委員の委嘱について説明を求めます。

(高橋教育次長兼スポーツ振興課長)

議案第15号仙北市スポーツ推進委員の委嘱についてご説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいま説明がありましたが、質問はありませんか。

—質問なし—

では、議案第15号は承認いたします。

次に、報告第5号仙北市生涯学習推進本部設置要綱の一部を改正する要綱制定について説明をお願いします。

(黒澤生涯学習課長)

仙北市生涯学習推進本部設置要綱の一部を改正する要綱制定についてご説明いたします。平成29年4月1日から組織再編が行われます。それに伴う改正でございます。

—資料により説明—

(安部委員長)

組織再編に伴っての改正ということで、全体的には変わらないということによろしいですか。

(黒澤生涯学習課長)

そうです。

(安部委員長)

承認ということによろしいでしょうか。

—異議なし—

では、報告第5号は承認いたします。

次に、報告第6号仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定について説明をお願いします。

(田口教育次長兼教育総務課長)

報告第6号仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定についてご説明申し上げます。

—資料により説明—

(安部委員長)

説明が終わりました。市の議会では可決されている事項ということによろしいですか。

(田口教育次長兼教育総務課長)

そうです。

(安部委員長)

このように手厚く援助されるということは、いいことだと思います。承認でよろしいでしょうか。

—異議なし—

それでは、報告第6号は承認いたします。

次に、報告第7号仙北市就学指定校変更事務取扱要綱の一部を改正する要綱制定について説明をお願いします。

(田口教育次長兼教育総務課長)

報告第7号仙北市就学指定校変更事務取扱要綱の一部を改正する要綱制定についてご説明申し上げます。

—資料により説明—

経緯を若干補足いたしますと、平成17年に文部科学省の初等中等教育局長から、指定校変更に関しては、部活動の項目を入れるように通知がございましたが、仙北市では、さまざまな事情がありまして明記していませんでした。明記していないことで、想定していないさまざまな問題、課題が出てきたこともありまして、今年度の就学指定校変更審査会で、入れるべきだという市内の校長からの強い要望があり、改正をしたところでございます。

(安部委員長)

これまでも、改正された形で進んでおりましたけれども、明文化されてすっきりしていると思います。承認でよろしいですか。

—異議なし—

それでは、報告第7号は承認いたします。

次に、報告第8号区域外就学の承認について説明をお願いします。

(田口教育次長兼教育総務課長)

報告第8号区域外就学の承認についてご説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいまの説明に質問はありませんか。

—質問なし—

報告第8号は承認いたします。

報告第9号仙北市就学指定校変更の許可について説明をお願いします。

(田口教育次長兼教育総務課長)

報告第9号仙北市就学指定校変更の許可についてご説明します。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいまの説明に質問はありませんか。

—質問なし—

では、報告第9号は承認いたします。

次に、報告第10号仙北市議会定例会一般質問・議案質疑について説明をお願いします。

(畠山教育部長)

3月17日に定例会が終わったわけですが、その時に出された一般質問、議案質疑の答弁についてご説明します。

—資料により説明—

(安部委員長)

今の報告を受けて、各委員の皆さんから意見、質問等をいただきたいと思います。今回の3月議会では、可決、否決、いずれにしても議会で検討されたことを受けて、教育委員会としてはどのように今後対応していけばいいのかということ、ここで何か決定するというわけではないのですが、そういう方向性をきちんと持っていかなければいけないのではないかと感じたところです。私から質問したいのですが、給食センターの否決の経緯というか主な理由が、正直に申し上げて私にはよく分かりません。部長は、否決になった主な理由をどのように受け止めているのかお聞きしたいと思います。

(畠山教育部長)

委託料の減額については、学校適正化と合わせて進めるという意見であるのが一つです。それから、敷地面積や場所の特定がまだだということと、候補として出した土地を絞って進めていきたいという状況でございました。

(安部委員長)

私が今思ったことは、学校適正化配置とリンクすることをもうちょっと考えていかなければいけないことと、給食センターの建設場所を数か所あげたわけですが、教育委員会の意思を明確にしないでというふうに言われたのかなと感じました。ですから、今後はやはり、教育委員会で十分検討した結果、ここが一番適当で、是非ともここに建てたい、団地のどこにどのように建てるのかというきめ細やかさも必要だというあたりが指摘されたのかなと思いました。今後は、そこまで踏み込んで考えて提案しなければいけないことだと思います。教育長、いかがですか。

(熊谷教育長)

部長の答弁のとおりですが、具体的なものを出していないといけないと思います。

(安部委員長)

今後、そういう配慮をして、遠慮しないで教育委員会の意思を明確にしていきたい。次の質問ですが、冬語りについてです。教育長に聞きたいのは、職員のモラルの向上のために、今後ソフト面で考えてやっていきたいことが、今もしあればお話しいただければと思います。

(熊谷教育長)

やはり我々は、謙虚にあくまでも市民や観光客の皆さんに思いやりを持って対応していかなければなりません。十分に反省して、新年度からは、全教育委員会でホスピタリティーということを全面に押し出していかなければならないと思っております。これまでも出てきたつもりではありますけれども、我々はサービス業ですので、その原点に立ち返って、オール教育委員会ホスピタリティーということで、教育行政、窓口対応をしつかりや

っていきたいと思います。

(安部委員長)

時間がかかることかもしれませんが、なんとかよろしくお願いします。次に、郷土史料館の展示品の何と何をどのように運んで、どこに展示するのかという計画ができていいのかということと、今の史料館は空調がきちんとしていて、展示品が劣化しない状態が保たれているんですけれども、移送した場合は、そういう空調施設は作る予定があるのかを鈴木課長にお伺いしたいです。

(鈴木文化財課長)

安部委員長からの質問を受けまして、どのようなものがクニマス未来館へ行って、残されたものはどれで、例えば潟分校が民俗関係だとすると、どういうものを展示すればいいのかということ踏まえまして、ある程度のリストを作りました。縄文の方も合わせて作ったわけですが、縄文に関しては、田沢湖駅のフォレイクという案もありましたが、展示スペースが狭いのではないかともありますので、今後それに限定しないで、どういうところで展示していけるかを含めまして、調整しながら公開していけるようにしたいと考えてございます。あと、史料館関連で国、県、市、それぞれ指定の文化財がございます。大変貴重なものだと思っておりますので、それらを中心として、市民や観光客の皆さんの目に触れる展示ができるように考えているところです。

(熊谷教育長)

生涯学習の会でもその話が出まして、どうなっているのか、どうするのかとかなり強く言われました。なんとか皆さんに納得いただけるような場所を十分に検討していきたいと思います。

(安部委員長)

私が今質問したのは、今すぐ結論を出してくださいということではなくて、どういう構想になっているのか、かなり時間をかけてきっちり計画を立てていかないと皆さんから納得してもらえないと思うし、できれば、ここに移転しましたではなく、移転する前に、ここに展示をしますが、どうでしょうかという形で審議いただければありがたいと思います。特に田沢湖の方々は作った時の思いがたくさんあって、そういう思いを後世に伝えていかなければいけないという使命感もあると思います。慌てて場所を変えないで、計画ができた段階で、例えば北浦史談会のような皆さんにも意見を聞くようにした方がもっと別なアイデアも出てくるかもしれないので、たくさんの方の意見を聞いて進めてほしいと思います。ほかにご質問ないでしょうか。

(河原田職務代理者)

興味があって聞くのですが、古文書の解説をしているそうですが、翻刻をしていて、現代語訳はありませんとありますが、文字のみ解説したということでしょうか。

(富木学習資料館兼イベント交流館長)

漢字に直して読めるように印刷したものとデータ化したものを学習資料館でお預かりしています。現代語訳まではやっておりませんが、なんと書いているか読めるように解説して、できたものをデータ化しております。

(熊谷教育長)

その権威が藤原芳夫先生でありまして、古文書を釈文とって、まず現代の漢字にするそうです。その漢字を活字にするのが翻刻だそうです。そして翻刻を日本語の現代文にするのが読み下しというそうです。今できているのが、翻刻までだそうです。その読み下しの作業がこれからだそうです。

(河原田職務代理者)

学校入学準備金を貸与しているんですけども、返納率が17%ということで、かなり生活が困窮している人が多い、返したくても返せない人が多いんだと思いますが、今の貸与型を給付型にすると、予算としてかなり大変な金額になってくると思います。そうすると、給付するための基準が厳しくなるのではと危惧しています。基準を緩くするという言い方が良いのかどうか分かりませんが、どんどん枯渇する資金を考えると難しいところがあると思いますが、なんとかうまく運用して行ってほしいと思います。

(畠山教育部長)

高校入学準備金につきましては、要保護準要保護なので、当然経済的な制限もあるので、その範囲の人でないと利用することができないので、自ずと経済的に厳しい状況にある方々に貸与しているので、なかなか返済がままならないのが現実でございます。協議検討はこれからですが、ある程度要保護準要保護の支給基準に合わせていかなければと思っております。議会の方からも給付型の方がいいのではという意見でしたので、当然予算は伴いますが、確保してきちんと設計して制度化していきたいです。

(安部委員長)

非常に難しい問題でもあるので、十分な時間をかけてもらいたいと思います。ほかにありませんか。

—質問なし—

なければ、報告第10号を承認いたします。

その他に入ります。いじめ、不登校対策についてお願いします。

(浦山北浦教育文化研究所長)

2月のいじめ、不登校の状況についてご報告いたします。はじめに、いじめについては小学校5件、中学校0件、計5件の報告がありました。学年集会や学級指導、個別指導等をそれぞれに行いまして、ほぼ解決とみておりますけれども、今後も注意深く観察してまいりたいと思っております。次に、2月の不登校は、小学生3名、中学生13名、計16名で前月比1名増となりました。2月の報告は以上です。

(安部委員長)

いじめ、不登校対策について報告がありました。何か質問はありませんか。

次は、教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

(朝水教育総務課参事)

お手元でございます、平成29年第1回仙北市教育委員会定例会会議録をご覧くださいと思います。

—資料により説明—

(安部委員長)

そのほかに何かありませんか。

(富木学習資料館・イベント交流館長)

新潮社記念文学館からご連絡させていただきます。高井有一前名誉館長の遺品につきまして、奥様から新潮社記念文学館の方にご寄贈いただきました。整理でき次第、高井先生の部屋ということで公開させていただく準備を進める予定です。原稿等につきましては、整理しながら、このあとの館蔵品展で、皆さんにご覧いただければと思います。それと、田口省吾の絵2枚もこちらで管理させていただきたいということでご寄贈いただきました。美術館の方で保管していただいております。これも館蔵品展で、前にお預かりいただいた2点も含めまして、皆さんにご覧いただきたいと思います。

(安部委員長)

たいへんご苦労様でした。ありがとうございました。ほかにありませんか。

(朝水教育総務参事)

4月の定例教育委員会ですが、最終木曜日の4月27日を予定しております。毎年4月

の下旬に行われております教職員の集いですが、大曲で行なわれる仙教研に合わせて開催しております。今回、4月下旬に花火サミットが行われる関係で、市内の施設が全部押さえられている関係で5月にずれ込みまして、5月2日(火)に市民会館で開催の予定です。詳しいことは後日ご連絡いたします。

(安部委員長)

それでは、委員の皆さんに、卒業式に出席した感想を一言ずつお願いします。

(坂本委員)

私は、西明寺中学校、角館中学校、白岩小学校に出席させていただきました。どこも本当に落ち着いたすごくいい卒業式で、子どもたち一人ひとりを先生方、保護者の皆さんがみんなで支えているかんじをどの学校でも受けました。これからの活躍が楽しみだなという印象でした。

(佐久間委員)

私は、桜木内中学校、西明寺小学校に出席しました。感動的でした。特に西明寺小学校は、おじいさんおばあさん方も出席されているということでした。非常に良かったです。

(安部委員長)

一番最初に言わなければならなかったのですが、皆さんご存知のように、西明寺小学校が今回、齋藤憲三賞をいただきました。西明寺小学校はもちろんのことですが、ほかの学校にもいろいろな形で良い刺激を与えてくれたなと思っております。卒業式に関しまして、私は神代小学校、生保内小学校、生保内中学校に行かせていただきましたけれども、それぞれの学校ともに、一人ひとりの輪郭が見えるといいますか、子どもたちが何をやってきたのかという顔が見える、頑張りが見える良い卒業式でした。

(熊谷教育長)

神代中学校ですけれども、出席者が8割、9割泣いているというたいへん感動的な卒業式でした。中川小学校、桜木内小学校は、地域の方がお見えになってもものすごく温かい卒業式でした。特に、子どもたちの歌声がものすごく、是非委員の皆さんにも1回出席していただければと思います。

7 閉会宣言 平成29年3月23日 午後3時30分